



イメージキャラクター
エンカちゃん

みんな 創る いろいろ できる



多様性を認めるという言葉が嫌いです。
だれが多様性を認めるのとなってしまうから。

組織の中のマイノリティは、多数を占める立場から認められる存在ではなくて、ともにこの場所を創り支える存在です。

みんなで創るからいろいろなものができ、
いろいろな価値観、経験が重なり合えば、もっと素晴らしい場所になる。

色を並べ、色を重ね、色を混ぜ、新しい森林研究・整備機構を共に。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所

Forestry and Forest Products Research Institute



ダイバーシティ推進室



イメージキャラクター
エンカちゃん

素敵さ 多様さは

ガラモンはいいなと思います。
でもウルトラQの怪獣がガラモンだけだったらつまらない。
鳥のリトラ、爬虫類のゴメス、植物のジュラン いろいろな怪獣がいるから心躍ります。

さまざまな背景を持って暮らしてきた私たちが、その人の特性のままに組織に貢献できること、多様さは素敵さです。

それぞれのバックグラウンドを良し悪しでとらえるのではなく、ガラモンはガラモンで、リトラはリトラで活躍できる森林研究・整備機構を目指して。



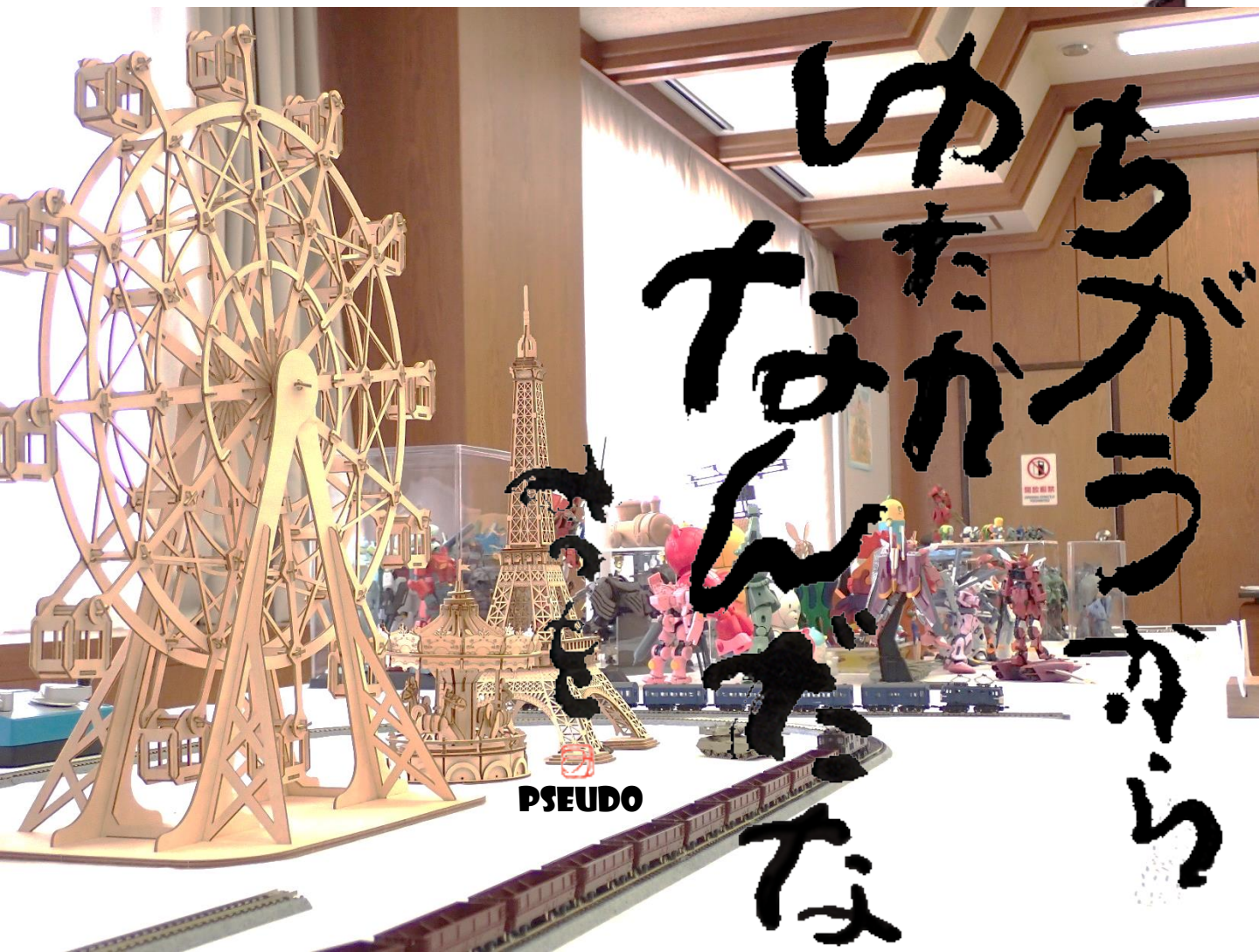
国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所

Forestry and Forest Products Research Institute



ダイバーシティ推進室



あれね、そうそう、そんな感じでよろしく。
気心が知れた仲間とは仕事も円滑で楽な感じがすること、よくあります。

でも、そこにベースを同じくしないメンバーが加わることで、説明が詳しくなったり、指示が明確になったりして、今まで気が付けなかった改善が出てくること、よくあります。

違うことは面倒さではなくて、大きく進むためのチャンスです。

混ぜるな危険ではなく、混ぜないと危険。

ぶつかったっていいじゃない 森林総研だもの。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所

Forestry and Forest Products Research Institute



ダイバーシティ推進室